

報道関係各位

2024年5月29日

国産 IDaaS「Soliton OneGate」にセキュアブラウザを搭載

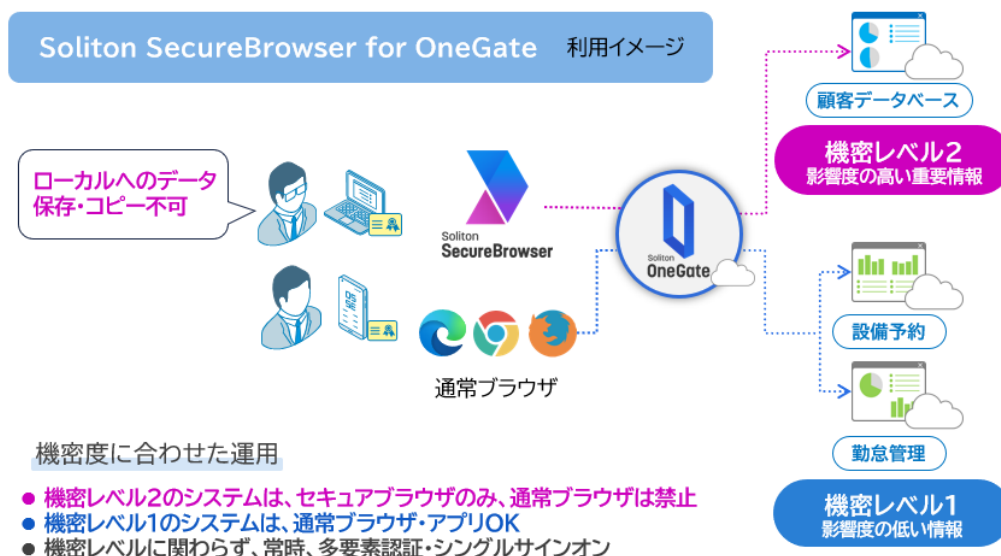
- 顔認証や Chromebook 認証強化を加え、業務効率とセキュリティの両立に貢献 -

株式会社ソリトンシステムズ(代表取締役社長:鎌田理、以下ソリトン)は、自社開発の IDaaS (Identity as a Service: ID 管理・認証サービス)である「Soliton OneGate(以下、OneGate)」について、セキュアブラウザをはじめとした新機能の追加を行いました。

DX とともにクラウドシフトや働き方の多様化が進んだことで、様々な場所に分散する「データ」と「ユーザー/デバイス」を安全かつ適切に繋ぐことが、企業・団体にとって必要となりました。OneGate はこれまで、デジタル証明書を用いた多要素認証とシングルサインオンにより、情報資産への不正アクセスを防止しながら、利便性・運用性に優れたアクセスコントロールをお客様に提供してきました。

一方で、不正アクセスを排除した上で課題となるのが、デバイス上で取り扱う業務データの保護です。今回のアップデートでは、デバイスにデータを残さない情報漏えい対策として 10 年以上の実績を持つ「Soliton SecureBrowser」で培った技術を基に、セキュアブラウザ機能を搭載しました。

クラウド上のデータを持ち出せないよう制御する独自の隔離技術だけでなく、OneGate の活用シーンに合わせた、データの機密度に応じた運用が可能な点や、閲覧可能なサイト・サービスの豊富さが、OneGate に搭載されたセキュアブラウザ機能の特長です。



また、多要素認証の一つとして、ユーザー負荷をかけずに本人確認ができる顔認証にも対応しました。パナソニック コネクトの顔認証クラウドサービス「KPAS(ケイパス)クラウド」との連携により実現した顔認証機能では、Windows や Chromebook をはじめとしたマルチ OS に対応し、専用の認証デバイスが無くとも、PC 付属のカメラで顔認証を行うことができます。

重要なクラウドサービスへアクセスする際や、通常とは異なるアクティビティを検知した場合の追加認証としても利用が出来ることで、OneGate の多要素認証の幅が広がり、これまで以上に柔軟なご提案が可能となりました。

さらに、セキュアブラウザ、顔認証以外にも、ユーザーの利便性、管理者にとっての使いやすさ、様々な環境への対応をさらに向上させるべく、機能追加を実施しました。

OneGate は、これからも働く環境の変化に対応しながら、お客様に快適さと安心を提供してまいります。

【 今回のアップデートの主な内容 】

- ・セキュアブラウザ (Soliton SecureBrowser for OneGate)
- ・顔認証オプション (パナソニック コネクト KPAS クラウド連携)
- ・ Chromebook 認証の強化

▼ アップデートの詳細はこちら

https://faq1.soliton.co.jp/faq/show/21033?site_domain=sog

▼ Soliton OneGate について

<https://www.soliton.co.jp/onegate/>

【 株式会社ソリトンシステムズについて 】

設立以来、ソリトンシステムズは IT・エレクトロニクス業界にあって、常に新しい技術トレンドを見据え、いくつもの「日本で初めて」を実現してきました。近年は、認証を中心とした IT セキュリティからサイバー対策まで、また、携帯電話回線4G、5G や Wi-Fi を利用した高精細の映像伝送システム、遠隔運転、遠隔操作などに取り組んでいます。国産メーカーとして、オリジナルの「もの創り」、「独創」にこだわった製品とサービスを提供しています。

設立: 1979 年、売上 190 億円 (2023 年 12 月期・連結)、東証プライム

HP: <https://www.soliton.co.jp/>

【 Soliton OneGate に関するお問い合わせ先 】

株式会社ソリトンシステムズ IT セキュリティ事業部

Tel: 03-5360-3811 netsales@soliton.co.jp

【 このリリースに関するマスコミからのお問い合わせ先 】

株式会社ソリトンシステムズ 広報

Tel: 03-5360-3814 press@soliton.co.jp